

始 業 式 式 辞

先ほど本年度本校に赴任いただく先生方を紹介いたしました。授業やクラス、部活動でお世話になると思います。いろいろな先生方からより多くのものを吸収していくようにしてください。

さて、本日より、平成30年度が始まりました。どうやら「平成」という元号を1年間とおして使う最後の年になりそうです。あとあと、思い出しやすい年となります。この3月の修了式に、1年を振り返って自分自身はどうだったか、相手との関係はどうだったか、集団の中で役割を果たせたかなど、1人称2人称3人称を例えに話したと思いますが、覚えていますか。この休みの間に、振り返りましたでしょうか。また、それぞれ学年が進んだこの1年の始まりに、今年をどんな年にしようか、何を身につけようかと、何を学ぼうか、必ず考えてスタートしていただきたいと思います。ぼーっと始まり、いつの間にか終わるといふ、もったいない1年にならないように。高校時代の1年

1年はまさに、きらきら輝く宝石のような、かけがえのない季節です。どうぞ大切にしていっていただきたいと思います。

ところで、「チャンスの神様は前髪しかない」なんて言葉を聞いたことがありますか。1年の始まりにこの言葉が適切かどうか、少し迷いましたが、迷っているとチャンスを逃すので、紹介をしておきます。神様の名前をカイロスといい、ギリシャ神話においてはゼウスの末っ子であるとされています。頭の前に長い髪が渦を巻いていますが、頭の後ろ側には髪のない美少年である、という解説があります。美少年というところは引っかけますが、この神様がこの言葉のモデルのようで、背中には天使のような羽根が描かれています。その神様を捕まえるには髪の手をつかむしか方法はなく、通り過ぎると追いかけても捕まえられないのだそうです。この1年をチャンスを捕まえる年にできるか、チャンスに気づかない、捕まえられない年になるか、君たち次第だ、ということをおきたいと思います。

明日は入学式が挙行され、フレッシュな後輩が入学してきます。君たちも経験したでしょうが、いろいろな夢や不安を抱え入学してきます。どうか、早く奈良北高校の一員になるように暖かく迎えてください。君たちにも、改めて初心を思い出してもらうために、もうひとつ、言葉を紹介しておきます。

松下村塾で多くの幕末の志士と明治の功労者を輩出した吉田松陰は、若者に対し、ことあるごとに「君の志は何か。」と問うたそうです。

夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。
故に、夢なき者に成功なし。

- 吉田松陰 -

これをもって、式辞に代えます。

奈良北高等学校

校長 土居正明